

- 問1 マレーシアの貿易に関する統計を比較すると、1980年には原油（23.8%）や天然ゴム（16.4%）といった原材料の輸出が中心でしたが、2013年には機械類が36.7%を占め、輸出総額の中で最大となっています。この変化から読み取れるマレーシアの状況として、最も適切なものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
1. 機械類などの工業製品の割合が大きく増加し、工業化が進展した。
 2. かつての工業製品中心の輸出から、原材料の輸出を中心とするモノカルチャー経済へ移行した。
 3. 天然ゴムの輸出額が著しく減少したため、原材料の輸出をすべて廃止した。
 4. 原油や天然ガスなどの鉱産資源の割合が、現在も輸出総額の過半数を占めている。
- 問2 東南アジアの主要な10カ国が加盟するASEAN（東南アジア諸国連合）について、その特徴や活動内容を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2023年 茨城県公立入試 類似）
1. 加盟国全体で一つの共通通貨を導入し、ヨーロッパ連合と同じような強力な経済統合の仕組みを完成させている
 2. 加盟国を東南アジア以外の国々にも広げ、アジア全体を一つの国家のように統一することを目指している
 3. アメリカや中国を含む環太平洋地域の広範な国々を対象とし、自由貿易の推進のみを専門に行っている
 4. 域内の経済成長を促進するだけでなく、社会・文化的発展や地域の平和と安定を維持することを目的としている
- 問3 日本がエネルギー資源の多くを依存している西アジアの地域について、その地理的特徴と原油輸出に関する記述として正しいものはどれですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）
1. アラブ首長国連邦は地中海沿岸に位置しており、パイプラインを用いてヨーロッパや日本へ原油を安定供給している。
 2. アラビア半島の大部分を占めるサウジアラビアは、ペルシャ湾沿岸に位置し、日本にとって最大の原油輸入先となっている。
 3. 日本はかつて西アジアからの輸入に頼っていたが、現在は北アメリカからの輸入がサウジアラビアを抜いて最大となっている。
 4. 西アジアの産油国はすべて内陸国であり、鉄道を利用して東南アジアの港まで原油を運んでから日本へ輸出している。
- 問4 中国の社会経済指標において、広大な農地面積を有しながらも1人あたりの国民総所得（GNI）が急増し、同時に年少人口の割合が低下している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
1. 急激なインフレーションにより国民の購買力が低下し、子供を育てる経済的余裕が社会全体で失われたため
 2. 市場経済の導入による工業化で所得が向上した一方で、長期間の一人っ子政策により出生率が抑制されたため
 3. 内陸部の農地をすべて工業用地に転換したことで、農村部から都市部へ若年層が完全に流出したため
 4. 主要な輸出産業を農業から石油資源の採掘へと切り替え、所得水準の向上と引き換えに教育環境が後退したため
- 問5 主要穀物の生産と貿易の動向について、小麦と米の各統計データを踏まえた説明として、正しい記述はどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 米の生産上位5か国である中国、インド、インドネシア、バングラデシュ、ベトナムは、いずれも人口密度が低いいため、生産量のほとんどを輸出に回している。
 2. 小麦の生産上位国にはロシアやカナダが含まれ、これらの国は広大な国土を活かした大規模農業により、世界市場への主要な輸出国の役割を担っている。
 3. 小麦は生産量が多い国ほど国内消費も必ず多いため、統計上、小麦の生産上位5か国が輸出上位5か国に入ることとは絶対でない。
 4. 米の輸出統計を見ると、タイやベトナムといったアジアの国々は含まれておらず、アメリカやカナダといった北米の国々が輸出の大半を占めている。
- 問6 中国の南に隣接し、インドシナ半島の東側に位置するベトナム社会主義共和国の歴史や文化について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2015年 大分県公立入試 類似）
1. 食文化においては、米の粉ではなく小麦粉を原料とした「ナン」と呼ばれるパンが主食として広く食べられている。
 2. 東南アジア最大の島しょ国であり、多くの島々から構成される地理的特徴を持っている。
 3. 1960年代から70年代にかけて、社会主義勢力の拡大を阻止しようとしたアメリカ合衆国と戦争を行った歴史がある。
 4. 大分県内の国・地域別留学生数（2013年度）の統計において、韓国や中国を抜いて第1位となっている。
- 問7 中国が深圳などの沿海部に経済特区を設けた主な目的と、その仕組みとして正しい説明はどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 伝統的な農業を守るため、特定の地域のみ工業製品の輸入を厳しく制限した
 2. 外国の干渉を防ぐため、特定の都市に限定して外国企業との取引を禁止した
 3. 内陸部の貧富の格差を解消するため、内陸の農村部を工業化の拠点とした
 4. 外国の資本や技術を導入するため、税制などの面で優遇措置を設けた
- 問8 世界の農産物生産統計において、インドネシアが世界第1位、マレーシアが第2位の生産量を占めている農作物を次から選びなさい。この作物は、熱帯の広大な土地でプランテーション農業によって生産されています。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 油ヤシ
 2. 茶
 3. 天然ゴム
 4. コーヒー
- 問9 東南アジアのある国では、1990年代末には原油などの資源が輸出の中心でしたが、近年では輸出総額の約4割以上を機械類が占めるようになっています。このような産業構造の変化をもたらした背景として、日本企業の進出を促した現地の要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）
1. 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。
 2. 農業の機械化が徹底された結果、米や天然ゴムなどの農作物の輸出割合が以前よりも大幅に高まったこと。
 3. 原油の産出量が急激に増加し、燃料としての輸出だけでなく精製技術による工業化が進んだこと。
 4. 日本企業の進出が減少したことで、自国の資本のみによる伝統的な軽工業が急速に発展したこと。
- 問10 東南アジアに位置するタイの社会や文化について述べた文として、宗教的背景を踏まえた正しい説明はどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 首都バンコクなどの都市部でも、僧侶が人々の家を回って食料などの寄付を受ける「托鉢」が日常的に行われている。
 2. 世界人口の約33%を占めるキリスト教が最も広く浸透しており、欧米諸国と同様の教会を中心とした生活様式が一般的である。
 3. 世界で最も信者数が多いイスラム教を信仰しており、一日に数回の礼拝を行うことが国民の義務とされている。
 4. ヒンドゥー教の教えに基づき、特定の動物を神の使いとして崇め、僧侶が街中で寄付を募る活動は法律で禁止されている。
- 問11 東南アジアなどの熱帯地域で見られる大規模な農園「プランテーション」の成り立ちと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの果樹栽培と、冬の降雨を利用した小麦栽培を組み合わせることで、気候に適応した生産を行っている。
 2. 大規模な機械を導入して、広大な土地で小麦やとうもろこしなどの穀物栽培と家畜の飼育を組み合わせ、効率的な生産を行っている。
 3. かつての植民地時代に欧米諸国の資本や技術によって開発され、輸出を目的として天然ゴムや油やしなどの特定の作物を大規模に栽培している。
 4. 都市への出荷に便利な地域において、ビニールハウスなどの施設を利用することで、野菜や花を一年中計画的に栽培している。